

# 好奇心大学活動レポート

vol.3 2023/2/8 (水) 第3回開催報告

## ○Kitakyu U29について

北九州市では「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、本市の将来を担う「若者に選ばれるまち」となるための取り組みを令和元年度から推進しています。それに伴い、まちづくりに関わりたい若者たち（北九州市内の学校に通う学生や29歳以下の若者など）がつながり、新しいことに挑戦するプラットフォームとして、北九州市未来創造ネットワーク「Kitakyu U29（キタキューユニーク）」を2022年11月に創設しました。

## ○好奇心大学について

好奇心大学とは「Kitakyu U29」に参加している学生が北九州市の未来について考え、アイデアを企画提案する、全5回のプログラム型ワークショップです。12/21～3/22までの約3カ月で開催します。

- ・市制 60 周年を北九州市内外に発信  
(以下：市制60をチーム名とする)
- ・映画の街・北九州を活用した若者視点のまちづくり  
(以下：映画FCをチーム名とする) ※FC/フィルムコミッションの略称
- ・北九州市の魅力在市外に伝える方法の研究  
(以下：広報PRをチーム名とする)

参加学生が3テーマに分かれて、3月に行われる最終発表会へ向けてアプローチしていきます。

## ○前回の振り返り

第2回は、各チームで設定したMission・Vision・Valueを軸に最終発表会に向けたアイデア出しを行いました。コーディネーターからのアドバイスをもとに企画の要素となるアイデアを出し、実際に企画に落として込んでいく作業を行いました。チームごとに実施する内容は違いますが、全チーム「若者」をターゲットにする方針を固めました。また、自分たちのチームだけで企画を進めるのではなく、他チームとの連携を視野に入れるチームもありました。今後、チームだけの活動に限らず好奇心大学全体で仲間とともに突き進んでいくことが予想されます。



今回好奇心大学に参加しているキタキューニ学生で記念撮影。この集合写真撮影もみんな慣れてきたのか、和気あいあいとした雰囲気でも撮影しました。

## ○第3回開催概要

日時 : 2023/2/8(水) 19:00～21:00  
開催場所 : COMPASS小倉  
※小倉駅近くのコワーキングスペース  
(北九州市小倉北区浅野3丁目8番1号 AIMビル6階)  
参加者 : Kitakyu U29の学生17名  
(うち2名オンライン参加)



好奇心大学も3回目に突入。中間に差し掛かり、アイデアをより具体的に企画していきます。

## ○インフルエンサーに学ぶ「情報発信のチカラ」

各チームからSNSを用いた情報発信に関してのアイデアが出ていたので、今回は「ミニマリストしぶ」こと澁谷直人さんをゲストとしてお招きし、SNS発信におけるコツやノウハウを伝授していただきました。ミニマリストとは、「最小限の」という意味のミニマル(minimal)から派生した造語で、物をできるだけ減らし、必要最小限の物だけで暮らす人のことです。しぶさんは自身のSNSでフォロワー10万人を持つ、影響力の大きいインフルエンサーとして活躍されています。学生のなかにはしぶさんのファンが数名いました。アイスブレイクとして、しぶさん自身のルーツをお聞きし、グループワークでは、今まで出たアイデアや企画についてチームごとに直接アドバイスをいただきました。



-澁谷 直人-

1995年生まれ、北九州市門司区出身。ミニマリスト。2017年に開始した「ミニマリストしぶのブログ」は、開設わずか1年で月間100万PVを超える人気ブログに。著書『手ぶらで生きる。見栄と財布を捨てて、自由になる50の方法』はAmazonベストセラー1位を記録。2018年に「Minimal Arts 株式会社」代表取締役役に就任。現在は、インフルエンサーとして活躍しながらミニマルな機能美を追求するアパレルブランド「less is \_jp」を監修。



みんなしぶさんのお話をしっかりと聞いています。U29若者代表として、参加学生に向けてしっかりと講義をしてくださいました。

## ○グループワーク～アイデアからアクションに～

第3回では、第2回で出たアイデアをもとに、より具体的に企画を詰めていきます。以下チームごとに見ていきます。



### 市制60チーム

市制60周年に合わせ、「多くの若者から意見を聞きだして実際に取り組む」というアイデアをもとにグループワークを進めていきました。「自分たちが多くの若者の意見を実現させる様子を発信することで、若者が住みやすさを実感し、同世代の転出防止につながるのでは？」という意見ができました。しぶさんも交え、今回のグループワークで論点となったのは“60という数字をどう絡めていくのか”と“若者の具体的な対象”についてです。この2点はチーム全員が納得するまで今後しっかりと話し合いを行っていきます。また若者からアイデアを集める方法として、アンケートフォームを作成し、SNSを使って発信していくほか、実際に自分たちの足で街頭インタビューを実施する案も出ており、若者の意見をどう集めていくのか、第4回のグループワークで検討して行く予定です。



### 映画FCチーム

映画FCチームは「自分たちがきっかけになり、「映画の街・北九州」を広げる」をMissionに、実際にSNS運用を行いながら、3月の最終発表に向けて動いています。毎回グループ討議では、事前に自分たちが疑問に思ったことを市のFC担当者にヒアリングし、SNSで発信するための情報収集をしっかりと行っています。また、Visionとして掲げている「自分たちがFC博士になって北九州フィルム・コミッションを自慢できるようになる」をモットーに今後、市のFC担当者が企画する映像制作ワークショップにチームで参加して、より知見を広めようと考えていきます。また、グループワーク終盤では最終発表会に向けて、チーム全体で綿密にスケジュール確認をしました。今後は最終発表会に向けた議論をしていきます。



### 広報PRチーム

広報PRチームは、最終発表会に向けた中間アクションとして10本の短編動画を作成し、TikTokを活用して北九州の魅力を発信していきます。今回のグループワークでは、しぶさんが普段インフルエンサーとして活動するときに意識しているポイントを教えていただき、知識をインプットしました。第2回までは魅力を伝える対象エリアを絞ることも考えていましたが、しぶさんからのアドバイスにより、北九州市全体の魅力を発信していくことになりました。また、自分たちのTikTokがきっかけで北九州市を訪れる人が、「北九州市に移住したい!」「定住したい!」と思える動画を作ると良いのでは?という案もでていました。今回しぶさんにいただいたアドバイスをもちに、次回までに「大学生×北九州市」を意識しながら、北九州市に住みたくなるような動画を撮影・編集する予定です。



## 第3回まとめと次回のアクションに向けて

第3回では、これまでのグループ討議で出たアイデアをもとに、企画の内容を具体的に詰めていきました。今回ゲストをお招きしたことで、課題解決の糸口を発見できたように見受けられます。また、どのチームも、疑問に思ったことはうやむやにせず、5W1Hを意識してメンバーとともにしっかりと討議できました。好奇心大学の開催も残り2回です。次回(2/15)は、実際に企画書を書き起こし、発表するための準備に取り掛かります。チームによって進捗状況は異なりますが、今回討議した内容をブラッシュアップしつつ、実際に自分たちで計画したアクションを起こしながら、最終発表会へ向けて取り組んでいきます。